

道路、情報サービス等が整備されているかどうか点検をしたかどうか。

②県との連携を含めて、ユニバーサルデザインの普及拡大をどう進めていくのか。

答 ①本市の総合計画前期基本計画にも、ユニバーサルデザインの推進を明記している。経費がかかるということ、実現できていないが、今後の施設整備には必要不可欠なものと考えているので、文字の大きさ、太さの表示等も含めて今一度点検しながら、整備していきたい。

②県にユニバーサルデザイン推進班が設置され、巡回訪問啓発ワゴンサービス事業を今年度から実施している。本市でも、9月に啓発パネルやグッズの展示等を予定。また、吉備路郷土館の活用案に生かすため、県立大学デザイン学部と共同研究もしており、こうした活動を通して市民へ周知に努め、県や県立大学と連携を図りながらユニバーサルデザインに取り組んでいきたい。

(副市長)

《頓宮美津子》

子宮がん検診について

問 子宮がんが20代から30代にかけて急増しているが、検診でかなり高い確率で予防できる。受診率は日本ではわずか21%、20代では11%と非常に低い。これから無料検診が始まるが、受診率を上げる啓発活動等、対策を考えているか。また、市の人間ドック助成事業に子宮がん検診やマンモグラフィーを加えたり、受診者にプレミアムチケットを配布したりして受診率の向上を図ったかどうか。

答 早期発見のため、昨年からは、肺がん検診や乳がん健康診断にいられた母親に、愛育委員を通じて子宮がん検診を勧めるなど、啓発に努めている。この結果、若年層を含めて今年は116人前年対比で増加した。また今回、国の補正予算措置で20歳から5歳おきで40歳まで対象年齢で無料クーポン券による検診費用

《渡邊繁雄》

の助成事業を行うということであり、これにより健康手帳等個別通知での周知も図られ、受診率の向上にもつながってほしいと思う。

ポスターによる啓発も進め、職場や地域との連携も図っていききたい。また、受診率を上げるための人間ドック費用の助成、プレミアムク

問 ①清音地区へのショッピングセンターの誘致

はどうなっているか。伯備線以東の市街化調整区域の用途の見直しは、その後どう進展しているのか。

②弱者対策を掲げているが、特に高齢者に対する手立てが冷たいような気がする。第4期の高齢者福祉施設整備計画で特別養護老人ホーム待機者対策として増床計画による充足を考えていると話したが、なぜ高齢者福祉施設整備計画を中止するのか。また、増床により雇用対策にならないか。

③長期安定財源確保のため、企業誘致が一番と考えるが、企業が進出したいとき、広大な適地がないと思う。地区計画書を策定しても、環境アセスメントの義務など数年かかる。進出要望に早急に対応できるよう、知恵を出してほしいがどうか。

答 ①中四国農政局長に農業振興地域解除を何度



線引きの見直し質問が出た清音地区の市街地（手前右が清音小学校。奥に伯備線が見える）

もお願いしたし、県に県南都市計画区域の見直し時期も尋ねたが、不定期の見直しで未定ということであった。これはおかしいので、国に普通のことの普通にするよう権限委譲を強く訴えていきたい。

②4月から新医療体系を開始し、また高齢者の交通手段として、昭和と阿曾で「こまわりくん」を走らせた。介護保険料も激変緩和

措置として4200円に抑え、バス・タクシーチケットの拡大も進めた。さらに老人対策を充実させたい。第4期介護保険事業計画では、平成21年度に特別養護老人ホーム30床、22年度に特別養護老人ホーム60床、介護老人保健施設100床の整備を予定。平成22年度には市内外の社会福祉法人から計画数を上回る建設規模が提出されており、現在

調整中である。現時点で第4期中の高齢者福祉施設整備を中止する考えはない。348人の待機者があることは、ゆゆしき事態であり、今回の増床は、雇用の創出にもつながると考えている。

③企業誘致はオーダーメイド方式では弱いところはあ

るが、財政状況を考えると、土地を用意して造成して企業を迎え入れるのは、危険な選択肢と判断している。

《服部剛司》

市長の政治姿勢について

問 ①謙虚であり続ける姿勢に変わりはないか。また、市長の言う地域主義とは霞ヶ関から見ているように思うが、どこのことか。

②市長として公平、平等の精神をどのようにとらえて政治を進めるのか。

③市民との約束、希望を持たせたこと、議員との約束ができていないものがあるが、今後どのように約束を履行していくのか。

答 ①市民のため、将来の総社市のためにと物事を急いでしようと思えば思うほど、謙虚でない部分が出てきたこともあったので、改めていきたい。地域主義では、厳しい財政状況の中、行財政改革や節約等を行い、工夫をしながらできる限り地域に還元できる予算は減らしたくない。決して霞ヶ関や県庁からものを見たりするつもりはない。土木担当の要望箇所についても、一つずつ消化していきたい。

②三菱自動車関連企業が特に危機的な状況に陥ったため、10万円キャッシュバックの支援を発動した。今後

問 交通戦略について 吉備線のLRT化に対応する岡山市の対応を

見て、本市の交通戦略の方向性、将来の見通し、取り組みを示してほしい。

答 吉備線のLRT化については、岡山市に不透明な部分がまだあるし、国の採択事業として残る8つの枠に吉備線が認定されるかどうか不確かな部分がある。岡山市が推進を正式決定するならば、本市はそれから逃げることはあり得ないのではないか。岡山市側がLRT化され、総社市側が廃線となることは避けなければならない。

(市長)

岡山市の吉備線LRT化導入を含む都市交通戦略の素案が正式決定されれば、本市も一体的な交通網整備体系を岡山市と相談しながら本格協議に入る予定である。本市では、平成20年10月に総社市総合交通体系調査研究委員会を立ち上げ、吉備線LRT化を含む市内交通体系の課題、問題点を整理してきた。今年度LRT化の費用対効果等を調査し、本市としてもメリット、デメリットを整理するため、交通戦略基本構想の作成を



LRT化が検討されているJR吉備線